

製品名: IL-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12531**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	IL2
別名	IL2; Interleukin-2; IL-2; T-cell growth factor; TCGF; Aldesleukin
遺伝子 ID	3558.0
SwissProt ID	P60568
免疫原	抗血清はヒト IL-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 16-65

背景

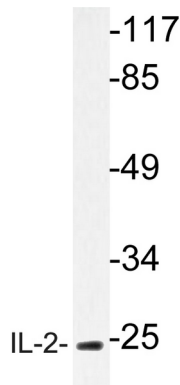
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞およびBリンパ球の増殖に重要な分泌サイトカインです。このサイトカインの受容体はヘテロ三量体タンパク質複合体であり、そのガンマ鎖はインターロイキン 4 (IL4) およびインターロイキン 7 (IL7) にも共

有されています。成熟胸腺細胞におけるこの遺伝子の発現は単一对立遺伝子であり、これは単一遺伝子の正確な発現を制御するための珍しい制御モードを表しています。マウスで同様の遺伝子を標的として破壊すると、潰瘍性大腸炎様疾患を引き起こすことから、この遺伝子が抗原刺激に対する免疫応答において重要な役割を担っていることが示唆されます。[RefSeq 提供、2008年7月]疾患: T細胞急性リンパ芽球性白血病 (T-ALL) の一種に、IL2に関連する染色体異常が認められます。転座 t(4;16)(q26;p13)は TNFRSF17 に関与している。機能: 抗原刺激またはマイトジェン刺激に反応して T細胞によって産生されるこのタンパク質は、T細胞の増殖や免疫応答の調節に不可欠なその他の活性に必要である。B細胞、単球、リンホカイン活性化キラー細胞、ナチュラルキラー細胞、および神経膠腫細胞を刺激することができる。、オンライン情報: インターロイキン-2のエントリ,オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース,医薬品: プロロイキン (カイロン) の名称で入手可能。腎細胞癌または転移性黒色腫の患者に使用される。、類似性: IL-2ファミリーに属する。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、Jak_STAT、T細胞受容体、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク、1型糖尿病、自己免疫甲状腺疾患、同種移植拒絶反応、移植片対宿主病、

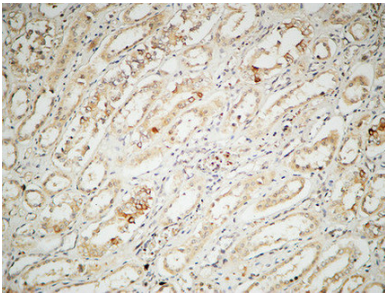
画像データ



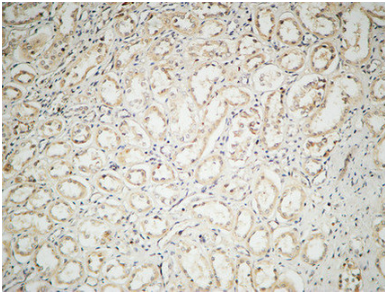
IL-2 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



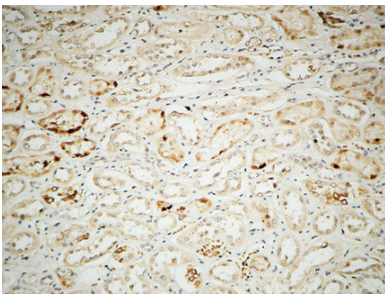
IL-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。